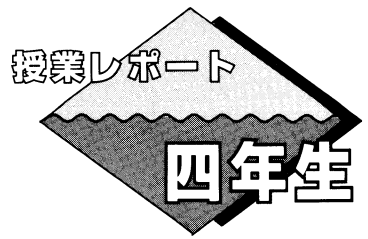


広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	イメージのとり結び方の個別性 : 生得的感性と知識による顕在性の現れ方
Author(s)	宮市, 千春
Citation	児童の言語生態研究 , 14 : 75 - 83
Issue Date	1990-11-25
DOI	
Self DOI	
URL	http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045166
Right	
Relation	





イメージのとり結び方の個別性

—— 生得的感性と知識による顕在性の現れ方 ——

宮市千春

授業案

一、日時 平成元年三月十六日（木）午後一時三十分～二時十五分

二、学年・組 相模女子大学小学部 第四学年二組

男子十二名、女子二十四名、計三十六名

三、授業形態 児童の言語生態研究会 会員による

ティームティーチング

四、授業テーマ イメージのとり結び方の個別性——

生得的感性と知識による顕在性の

現れ方——

→ 個性研究のてがかりとして→

五、テーマについて

「個性」というものが、教育においてクローズアッ

プされているが、その子の「生得的感性」と「知識による顕在性」とが一緒にされていることが多い。

児童の言語生態研究会では個性の特性を追究してきたが、本授業では「生得的感性」を取り扱う。

この生得的感性は個々のイメージのとり結び方に現れてくると仮定して、イメージとかわりを持つ、教科書「みんな詩が書ける・心のつぶやきを」（光村図書 四下）を取り扱う。教科書「みんな詩が書ける・心のつぶやきを」を、次のように教材化する。

まず、題名をふせた詩を示し、詩からイメージを結んで題名を考えさせる。第一予想と、ヒントを与え、第二予想も書かせる。ここでは、児童が自分のイメージのとり結び方、イメージの流れ方を意識するようにしたい。また、生得的感性によつて結ばれた詩を選んで、児童に示すように留意したい。そこで、教科書外からの詩も扱う。そして、児童がイメ

ージをとり結ぶ際に知識ではなく、生得的感性をはたらかせるよう留意する。

次に、「題をさがした詩」とつながりのある題名を児童に示し、そこからわくイメージを詩にするよう指示する。ここでは、個々の生得的感性をはたかせてイメージを結ぶことをめあてとする。

また、本授業において、児童それぞれのイメージのとり結び方のくせをみることをねらいとする。イメージをとり結ぶ際に、生得的感性がはたらく子、知識による顕在性が強い子、といった個別性が見られると考えられる。

六、本時の目標

生得的感性をはたらかせて、イメージを取り結ぶこと。（児童）

児童のイメージのとり結び方の個別性を検証する。（指導者）

七、本時の展開

学習活動(指示と発問)	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ●ここに短い詩があります。何のことを詩にしたのでしょうか。題名を考えて下さい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> さんばつは きれい </div> (用紙に第一予想を書く) <ul style="list-style-type: none"> ●これは虫です。何でしよう。……範囲を定める。 ●(第二予想を書く) ●これは「ケムシ」です。詩と題と、ぴったりだと感じた人はいますか。どこがぴったるとききましたか。 ●ぴったりこないという人は、どこがきませんか。 ●では、「イモムシ」という題名だったらどんな詩ができそうですか。「イモムシ」 	●用紙を回収し、生得的感性がはたらいっているかどうかたしかめる。 ●自分のイメージの流れ方を児童が意識するようにする。 ぼくはぴったりき たのにおの子はぴったりこないという。 ●生得的感性をはたらかせるようにする。 説明的・知的に書く子

のイメージを浮かべて、自分にぴったりにくる詩を書きましよう。 ●発表して下さい。 ●今の人と似ている人、違う人はいますか。	「生得的感性をはたらかせて書く子」
※以下同様に ①詩の題名を見つけ	●説明的・知的に書いている場合には、生得的感性をはたらかせるように。 ②で与える題は、イメージがつながり、

る。 ②それとつながるイメージの流れを起こさせるような題で詩を書く。	且つまったくものと詩とは異なったイメージをわかせるものにする。
●きょうは、自分なりの「ぴったりくる感じ」を大切にしていくことを勉強しました。	●きょうのねらいを確認する。

使用する詩と

ケムシ さんばつは きれい (イモムシ)	ミミズ ひとりでもつれることができます ひとりでもつれてくることあります ひとりでもつれてみることにあります
カボチャ すわったきりですが かが こつてなりません (タマネギ)	いびき ねじを まく ねじを まく ゆめが とぎれないように (くしゃみ)
ひょうたん なさけなや おなかを にぎりつぶされた (れんこん)	えんとつ けむりの はたなど たてて いる だれも あそびに こないから (アンテナ)

ちきゅうまでが……
(ナメクジ)

詩はまどみちおのもの
『つけもののおもし』
『動物のうた』
『人間のうた』
他、参照

八、評価

生得的感性のはたらかせ方は、どうであったか

授業記録

さんばつは きれい

- T この詩の題名は何だと思ひますか。(↓第一予想を紙に書かせる)

T これは虫です。もう一度考へてみよう。(↓第二予想)

T これは「ケムシ」です。

C えー ちがつたー。

C やっぱりなー。
- T ケムシという題がびつたりだなあと思つた人。(ほとんど手があがる) どうしてびつたりだと思ひましたか。

C 毛がいつぱいあるからさんばつがきれいつていうところ。では、みんなも「ケムシ」の詩みたくて詩をつくつてみよう。みんなは「イモムシ」という題にびつたりくるように書いてみましょう。(↓詩を書く)

名前	第一予想	第二予想	「イモムシ」
C ₁	ハゲのおじさん	毛虫	キャベツが 食べたい
C ₂	うかばない	けむし	きもちわるい ムニユムニユ
C ₃	けむし(知つてた)	けむし	もぞもぞ うごく ぐにやぐにややさん
C ₄	わかりません	わかりません	イモムシコロコロ イモから生まれた なにかのよう虫? 足がたくさん 緑色
C ₅	けむし(知つてた)	けむし	胃があつてもりもり葉を食べ、ムーッとへんな味だと考へる、シ——これはだれにもいつてはいけな
C ₆	うかびません	うかびません	はいつくばつて歩く イモが好き
C ₇	けむし	けむし	モソモソ動く。あしがあるんだかないんだかわからない。でも、生きてゐるのはたしかだ。
C ₈	とこやさん	いも虫	イモが大好き いつもイモのはっぱの上でねてる へんな顔だけど おもしろい
C ₉	さんばつ	うかばない	コロコロ歩いて じつとやすんで またコロコロ歩きだす。
C ₁₀			欠席
C ₁₁	キリギリス	キリギリス	イモムシゴロゴロころがった。おイモじゃないのにころがった。ボールでもないのにころがった。なぜころがるのかな。
C ₁₂	さんばつや	わからない	クニヨクニヨ ニヨロニヨロ ばくつてどうして のろいんだらう
C ₁₃	うかびません	うかびません	ごろごろ だいすき
C ₁₄	うかびません	うかびません	イモムシは 人間にきらわれている イモムシは グリン色
C ₁₅	パーマ屋さん	かみきり虫	イモムシは木のえだにゐる ちやいろいさなぎのようなふくをきてゐる ちよこちよこ動く
C ₁₆	けむし(知つてた)	けむし	イモをくいあらし イモの中にねてゐて やきいもになる
C ₁₇	うかばない	ケムシ	イモのようなムシ 歩くのがおそい みんな キライ……
C ₁₈	かみきり虫	かみきり虫	いつもはっぱにくるまつてゐる くる日もくる日もくるまつてゐる いとを木のえだにつけてゐる

C /	名前	第一予想	第二予想	「タマネギ」
		つけもの石	きゅうり	エーン エーン

すわったきりですが
かたがこつてなりません

T これは何でしょう (一第一予想)
T これは野菜です。
T 野菜の中でこれはこつているな一という感じの肩をしてい
るんだよ。絵に書いてもいい。(第二予想)
T これはカボチャです。どうですか、ぴったりだと思ったか

C こつてる感じがする。
T みんなは「タマネギ」の詩を書こう。

C 36	ケムシ(知ってた)	ケムシ	どうもきもちわるい でもかわいい みどりでコロコロ けがちよつとしかかないから やっぱりさんばつきらい?
C 35	けむし(知ってた)	けむし	セツタンは きらい
C 34	ケムシ(知ってた)	ケムシ	イモムシうごく よじつてうごく ウジュ ウジュ ああ つかれた
C 33	ぼくさんばつきらい	わからない	イモムシのつたのつた おそいなあ…… うるさーい中身を見てからいえ! イモムシのつたのつた おそいなあ……
C 32	けむし(知ってた)	けむし	コロコロコロコロコロ……
C 31	ケムシ(知ってた)	ケムシ	イモがこうぶつ かわをぬげばハゲになる はっぱをたべて おなかがふくれてだるま
C 30	とこ屋	いも虫	イモからうまれた むしである
C 29	うかびません	うかびません	いもがすき いつもあたまに いもをのつけてる
C 28	うかびません	うかびません	イモムシは はいつくばっている イモムシは 虫
C 27	さんばつきらい	けむし	イモみたいに まるくつて ムシみたい
C 26	けむし	けむし	モコモコあるく さわると コロコロころがる
C 25	うかびません	けむし	ちやいろくて ながまるで つちにすんでいる
C 24	うかばない	ケムシ	イモムシはきたない
C 23	けむし	けむし	イモのように コロコロしてる虫
C 22	けむし	けむし	はつてあるく ゆつくりあるく ゴロゴロしている モソモソしてる
C 21	ケムシ(知ってた)	ケムシ	足がおそくて 10センチを98・3ではしる。 これでもはやい方だ! 人間にたとえるとふつうの人。
C 20	とこや	うかばない	コロコロ イモムシ イモきらい イモムシ イモムシ あか ちやいろ イモきらい イモムシ
C 19	うかばない	ハサミムシ	モシイモだったら イモをむしてイシをもむ。

C 27	じゃがいも	じゃがいも	まんまるくって はんぶん切ると なみだが ポロポロ
C 26	お年より	かぼちゃ	ザックリとほうちようで切った。わっ なみだがとまらない つーんとめにしみる
C 25	かぼちゃ	かぼちゃ	きると目がいたくて なみだがでる めがいたくて たまらない
C 24	うかばない	うかばない	タマネギは まるい
C 23	いす	わからない	ほうちようで ザクツときると なみだが ポロポロ でてくる
C 22	いす	大根	茶色のような 洋服をきています。みじん切りにすると なみだがポロポロ
C 21	おじいさん	わからない	コロコロころがり 切ると はんげきしてきて 目からなみだがでる エーン ザマー
C 20	わかりません	じゃがいも	まるいまるい しわのような線、茶色い。ころころ ふしぎ 中は 白い
C 19	わからない	ブロッコリー	下からみるとにんじん 上からみると大根 横からみると水でき 切ってみると なみだがでてくる。
C 18	わからない	わからない	すぐみんなをなかせてしまう なんてなかせてしまうのかな、なぜだろう
C 17	おじいさん	わからない	ころころ…… 切るとなみだがでる…… 目にしみる きるのが やになる
C 16	つけもの	きゅうり	包丁できると つーん なみだが ぼろぼろ
C 15	おじいさん	かぼちゃ	むいて 切れば なみだがぼとり
C 14	わからない	わからない	人間にとってやな野菜だ。茶色っぽくて丸い。なみだがでる、ポロポロポロ。
C 13	わからない	じゃがいも	タマネギまるい きるとなみだがでてしまう。つるつるしてる。
C 12	わからない	キャベツ	ちやいろで なんかほうぼう 火がでてるみたい なんか こわい かんじ
C 11	うかびません	キャベツ	ぼくってそんなに かなしいのかな だってみんな ないちゃうもん！
C 10	わからません	キャベツ	むいて むいて むいて むいて むいて むいて あら なにもなくなっちゃった
C 9	おじいさん	かぼちゃ	エーンエーン 目がいたい なみだがでてきた エーン エーン
C 7	いす	きゅうり	みんなは 泣いた ぼく見て 泣いた
C 6	いす	カボチャ	切って食べるが なみだがぼろり
C 5	カボチャ	カボチャ	えーんえーん だれかがないている。みにいってみたら たまねぎを切りながら ないていた。
C 4	わからない	スイカ	タマの様な ネギだから タマネギ？
C 3	石	かぼちゃ	トンガリあたま かわばかり
C 2	つけもの石	カボチャ	タマネギ頭がとんがって なかせて かわが かんたんにはげる

名前	第一予想	第二予想	「れんこん」
C7	おにぎり	ぶどう	なまけな
C2	おにぎり	たね	虫にいつぱい食べられた
C3	ブドウ	オレンジ	よわつちい みみずにくわれ あなあいた。
C4	わからない	わからない	土の中の虫に 体にへやを つくられた
C5	ひょうたん	ひょうたん	どろまみれになって どんどん よごれていく
C6	おむすび	かき	切っても 切っても 切っても 全部切っても 穴があいてる
C7	おにぎり	ヒョウタン	中は白くて 穴いつぱい
C8	ごま	かき	うーん……
C9	わからない	わからない	体に穴があってかわいそう。えのぐぬって 紙にうつすと お花みたいなもよう
C10			ああいたい 上からやりが ふってきた。

なまけなや
おなかをにぎりつぶされた

T この詩の題は何でしょう。(↓第一予想)
T これは木になるものです。
Tu まるを書いて、そのまるのおなかをギュッとにぎりつぶしてごらん。わかるから。(第二予想)
T これは「ひょうたん」でした。では、「れんこん」という詩

C 今、書こうと思ってたこと言われちゃった。
Tu 穴があいててこつちから見たらあつちが見えたなんてだめだからね。そんなのだれでも書ける。自分だけのを書くんだ。

C36	うかばない	つけもの	ピリピリ やつとようふくむけた こんどは切るぞ あー目にしみる
C35	キリギリス	カボチャ	タマネギ いたい
C34	つけもの石	おつけもの	カワムキヤ ナミダ カワムキヤ マタカワ ナンダコリヤ
C33	いすさん	おつけもの	おお タマネギ、私はおまえをみるとなみだが出てしまう おお タマネギ
C32	つけ物石	わからない	皮が多いけど 多くむいちゃやだよ 全部なくなる。
C31	カボチャ(知ってた)	カボチャ	切ったら なみだでる なせだろう
C30	おばあさん	かぼちゃ	まん中ばつさり切れば 人はかなしくて ないてしまう。おうちはおなべの中。
C29	いす	アスパラガス	目がいたくて いたくて たまらない なみだが ポロポロポロ
C28	わからない	きゅうり	いつも人をなかせる きられるともつとなかせる 水には弱い。

C 36	C 35	C 34	C 33	C 32	C 31	C 30	C 29	C 28	C 27	C 26	C 25	C 24	C 23	C 22	C 21	C 20	C 19	C 18	C 17	C 16	C 15	C 14	C 13	C 12	C 11
おにぎり	もち	おにぎり	おにぎり	うかばない	ひょうたん	おへそ	おにぎり	おにぎり	ドーナツ	たまご	ふうせん	ひょうたん	ひょうたん	おにぎり	おにぎり	おにぎり	わかりません	おにぎり	おにぎり	わかりません	おむすび	おにぎり	おにぎり	わからない	おもち
たね	かき	ぶどう	ひょうたん	かき	ひょうたん	かきの実	わからない	わからない	わからない	ぎんなん	しいの実	ひょうたん	ひょうたん	わからない	わからない	米	たね	わかりません	たね	わかりません	バナナ	ヤシノミ	わからない	いちご	たね
あたまの中は からっぽのおバカさん	穴 穴 穴 いつまでも 穴 穴 穴	あなあいた のうみそカラカラ ああ バカだ	れんこんくん 君は右から入ると すぐ左から出るんだなあ 頭もからっぽ	なさけなく ありにせんりよう されたみたい	土の中でできる。もぐらに食べられて あなあいた。	あーあ 体をつぽうで うたれちゃった。	つぶされた あなだらけ	だいこんの色がちがう お部屋がいつぱい	ドーナツをのばして つぶしちゃった	れいぞうこの中の トンネル	きつてもきつてもおなじかたち ちょつと ひげがはえてる	れんこんは なさけなや	どろの中に入っているもの 根っこに はえてるよ	クッキーを虫が食べて たくさん あながあいた	体が穴だらけ アリが落とし穴に入ったら 楽しいだろうな。もしかしたら六角形。へんな形。	さびしいよ おなかもすいた 穴ばかり	あなだらけ たてでなくては 見えないよ	(白紙)	なさけない 体中に穴あいてる、スースーしてきもちわるい はやく あなをふさいでほしい	なさけなや 身に穴があいてしまった	かわむけば おとし穴いつぱい 虫が通るの たいへん	れんこんは とるとき たいへん長くて なかなかつけねまでほれない	あながいつぱい ちょびつと太くて 長くて おもしろい	どうしてぼくはあなだらけ? ピストルでバンバンうったのか、それとも上から針じごく?	そうがんきょうみたい ガラスをつければ 本物だ

名前	第一予想	第二予想	「ナメクジ」
C ₁	せんそう	わからない	海なんか くらいだーっ
C ₂	つる	つる	自分のいえなくした いえをさがしに たびにゆく
C ₃	つる	へび	みじめにも からをとられた
C ₄	太陽	わかりません	塩なんか 一番のだいっきらいだ
C ₅	へび	つる	うわー ふんじやった、足にぬるぬる ついちゃった どうやっても とれはしない
C ₆	うかびません	うかびません	ねばねばしてて くにや くにや
C ₇	毛糸	ミミズ	クジになったら ああ ナメたい。
C ₈	なわとび	へび	ヌルヌル ノロノロ かたつむりとにている 家をとったら なめくじ
C ₉	あたま	みの虫	ぼくは木の中、ぼくはようふくがない。ぼくは家をもっていない。
C ₁₀			
C ₁₁	あたま	へび	あらら、上から塩がパラパラ 見ているだけなのに 自分がしんだ
C ₁₂	みのむし	みのむし	ぼくはニョロニョロ土の上。ぼくはへんしんできるのさ 家をつければカタツムリ。家はずせばナメクジさ。
C ₁₃	わからない	くも	べちよべちよしててもきもちわるい。歩くのおそく だれにもまける。
C ₁₄	?	わからない	家がない さみしいな
C ₁₅	リボン	くも	トロトロとけそう 塩かけたらほんとにとけた。じめじめした所にいる。
C ₁₆	クモ	クモ	カタツムリの家なし ぼくはこじき 塩をかけられると ギャー 体がとけちゃった
C ₁₇	じしん	くも	(白紙)
C ₁₈	へび	とかげ	ニルニル カタツムリのふたごきょうだい。お兄さんは家をしょってる。弟は家なし、かなしいナア

ひとりでも
もつれることができます
ひとりでも
もつれてくるができます
ひとりでも

もつれてみるがあります
あんまり
かんたんなものですから
じぶんが……
それでちきゅうまでが……

T これは何でしょう(↓第一予想)
T これは虫のような生き物です。
最後の二行はちよつとちがうけど、「も
つれてくる」とか「もつれてみる」こと
がありますっていうんだよ。(↓第二予
想)
T これはミミズです。では、「なめくじ」
の詩をつくろう。

C 36	へちまのくき	くも	ヌメ ヌメ ヌメ ヌメ おふろに入って よこれをおとせ!
C 35	毛糸	ミミズ	塩だ あぶない
C 34	きゅうりのくき	くも	(おもいつかない)
C 33	毛糸	ミミズ	ナメクジとなめくじ、よんだかんじではちがうようですが おなじナメちゃんです。ぬめぬめいかにもナメクジです。
C 32	つりばり	みみず	そういえば 一人もん。
C 31	とんぼ	つる	ぬるぬる ぬるぬる ぬるぬる SOS うわー とけた〜
C 30	なわとび	ミミズ	おふろあがり ようふくきないで外でたら 石の家にもぐりかくれんぼ。みつかつてしおかれたらおしまい。
C 29	くも	わかりません	かたつむりみたい、やねがなくてさむい。あしがおそくて 白いもの……
C 28	わからない	わからない	ナメクジは家がない SOS
C 27	とり	くも	ひとりで しぬことができる いえを見にくることもある
C 26	足	みみず	ほとくの好きな所は じめじめしている所です。友だちがいないのです。さみしい。
C 25	くも	へび	しろくて かおがなくて のつぺらぼう
C 24	むし	わからない	ナメクジ ちぢむ。
C 23	とり	わからない	雨の日にいっぱいでてくる、かたつむりの家をもつてないむし。ぬるぬるして きもちわるい。
C 22	太陽	わかりません	家をもつていません ぬめぬめしています
C 21	つる	くも	海に入ると 小さくなる、へんな虫のような虫。
C 20	あたま	へび	ナメクジは どこにいても おいだされる
C 19	わかりません	わかりません	塩が大きらい とてもぬるぬる かべなどにベタリ

Tu 上原輝男
T 宮市千春 (私立・相模女子大学小学部教諭)